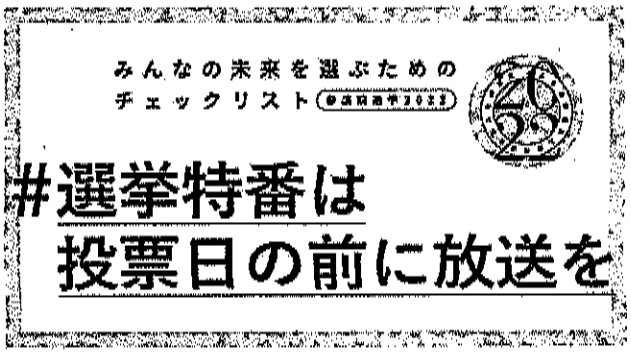
7/2 [illegible]

「#選挙特番は投票日の前に放送を」と題した緊急署名のバナー



市民有志が緊急署名呼びかけ

参院選（10日投開票）をめぐる報道にかかわって、「#選挙特番は投票日の前に放送を」とメディアに求める署名が緊急で呼びかけられています。署名を立ち上げたのは、各政党の選挙公約比較をつくって発信している市民有志「みんなの未来を選ぶためのチェックリスト」です。

この間、国政選挙の期間中にNHKを含む地上波テレビ6局が行った選挙にかかわる放送時間は、2013年が49時間18分、16年が41時間30分、19年が36時間8分と減少の一途をたどっています（エム・データ社の集計）。

緊急署名の声明では、今回の参院選は国のありかたを左右するとても重要な選挙だが、選挙があることを知らない人が多くいると述べ、「その要因の一つが、現在のマスメディアの選挙報道のありかたにあると考えています」と指摘。投開票後の選挙特番と同程度の厚みをもった番組を、選挙期間中にも放送することを訴えています。選挙番組をつくる際は「量的公平性」ではなく、テーマや切り口といった「質的公平性」を重視することなども求めています。

署名への賛同は、オンライン署名サイト、チェンジ・ドット・オーグからできます。